

—繊維上のMRS A、緑膿菌等の増殖を強かに抑える—

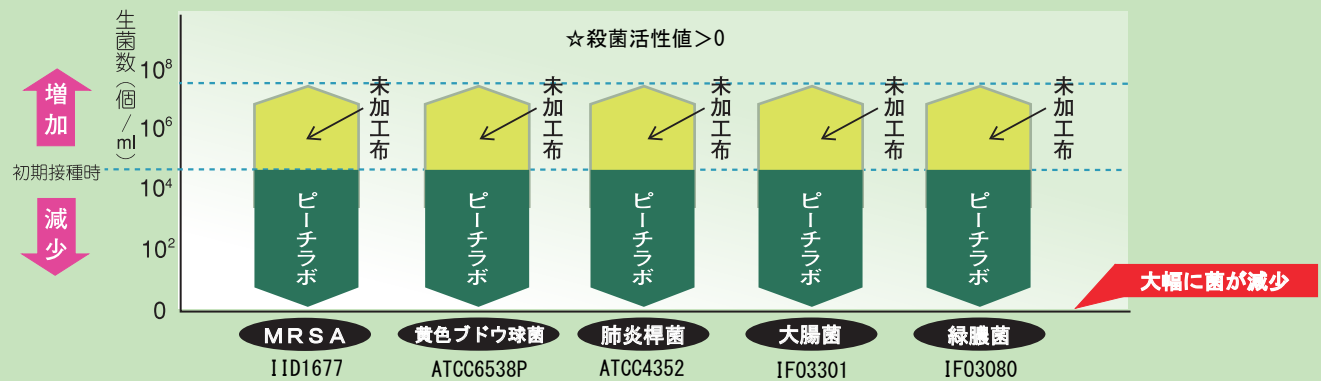
Peach Labo ピーチラボ

ピーチラボは、院内感染の防止を目的に、繊維上のMRS A（メシチリン耐性黄色ブドウ球菌）や緑膿菌などの増殖を強かに抑える機能加工です。

①抗菌性

ピーチラボは制菌加工（特定用途）のSEKマーク（赤）に対応しています。

【80℃ワッシャー洗濯50回後も優れた抗菌効果】



試験方法：JIS L1902 定量試験

試験菌種：MRSA (IID1677)・黄色ぶどう球菌 (ATCC6538P)

肺炎桿菌 (ATCC4352)・大腸菌 (IF03301)・緑膿菌 (IF03080)

洗濯条件：厚生省令13号準拠 (80℃ワッシャー洗濯) 50回

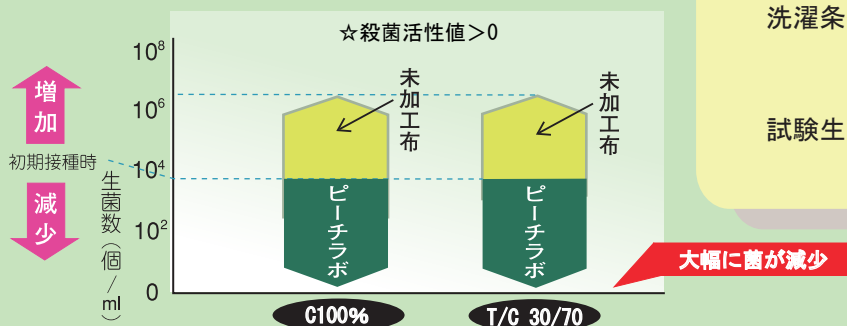
制菌加工繊維製品洗濯方法 (JAFET標準洗剤使用)

試験生地：T/C 30/70 平織シーツ地

②高い洗濯耐久性 (業務用洗濯対応バージョン)

ピーチラボは繰り返しの業務用リネン洗濯にも耐える優れた耐久性を備えております。

【過酸化水素洗濯200回後の抗菌効果】



試験方法：JIS L1902 定量試験

試験菌種：黄色ぶどう球菌 (ATCC6538)

洗濯条件：F-2法洗濯 (60℃×30分洗濯)

+過酸化水素水 (35%) 3.0cc/l

+過炭酸ソーダ 1.5g/l

試験生地：T/C 30/70 平織シーツ地

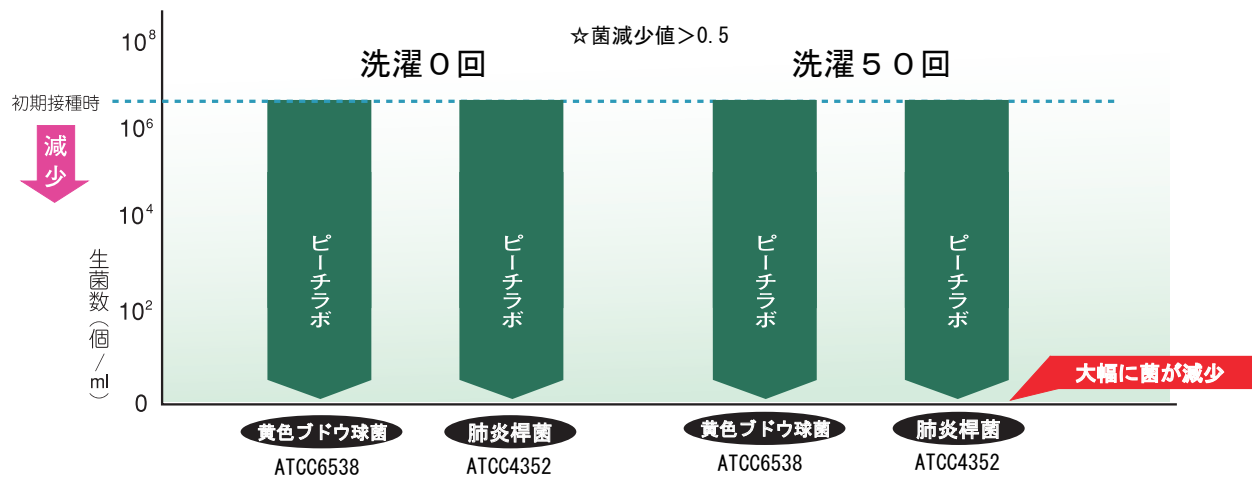
C100 平織シーツ地

次亜塩素酸洗濯 (有効塩素250ppm) でも20回までの耐久性を備えております。

③実用条件に即した抗菌性

実際の医療現場では様々な繊維製品の使用状況が予想されます。私達は北里研究所と検討を重ねて、製品が乾いた状態でも効果を確認することのできる試験方法「北里式スポット法」をいち早く独自に開発いたしました。その後SEKで乾燥状態でも測定できる方法として菌転写法が確立されました。勿論、ピーチラボはこの試験方法でも下記の通り、すぐれた抗菌性と耐久性をキープします。

【菌転写法（乾燥状態）での抗菌効果】



試験菌種：黄色ブドウ球菌（ATCC6538）・肺炎桿菌（ATCC4352）
試験方法：JIS L1902：2002 定量試験（菌転写法）
洗濯条件：厚生省令13号準拠（80℃ワッシャー洗濯）50回

※菌転写法は菌を転写接種し4時間後の生菌数を測定しますが、未加工布の4時間後の生菌数はほとんど減少しません。

④安全性

公的検査機関による試験や実際の病院でのモニタリングにより安全性の高さが実証されています。

- 変異原性・・・陰性
- 経口毒性・・・LD₅₀：2000mg/kg以上
- 皮膚刺激性・・・準陰性（日本産業皮膚衛生協会）

⑤新しい耐性菌を抑制

ピーチラボは即効性です。微生物の細胞膜に直接作用する効果が発揮されますので効きめが早く、新しい耐性菌の出現を極力防止いたします。

